

# なごみつうしん

発行日：平成 28年2月22日(第 14号)

発行：島田療育センターはちおうじ

家族から生まれたときの様子を聞いたインタビューは、「五体満足でよかった。」「健康でよかった。」など、「生まれてきてくれてありがとう。」という思いで満たされています。でも、誕生の瞬間に「生まれてきてくれてありがとう」といえないときもあります。授業は、“障害”という個性について考えていきます。

所長 小沢 浩

## 授業で伝えたメッセージ

生まれたときのインタビューを紹介した後、私は次のメッセージを生徒に紹介した。

- ・発展途上国では妊娠や出産が原因で毎日1000人以上の母親の命が失われています。
- ・アメリカでは、10代の少女の6人に1人が妊娠しています。

(2012年1月7日世界一受けたい授業より)

「産まれてくれてありがとう」  
ここにいるみんなの家族の思いです。

「生んでくれて、育ててくれてありがとう」  
ここにいるみんなの思いです。

命は自分だけのものではない

みんな愛される存在である



## 障害について考えよう

次に、「障害」について考えてみよう。

(ビデオで紹介)

A君は、生まれた時に呼吸ができずに酸素が足りなくなってしまった脳性まひの男の子。そのA君を初めて外来で診察した時のことである。私の外来に来たときには、A君は、私をしっかりと見ている目で追っていた。初めて会ったのに私を見て笑ってくれた。

「A君、よく見てるね。」  
と私が何気なく言ったところ、お母さんは、「そうでしょ！そうでしょ！」と訴えるように答えてきたのであった。聞くと、ある大学病院の眼科を受診した時に、「この子は見えない。」と言われたとのことであった。

「そんなことないと思います。わかっていると思います。」

と言ったところ、眼科の先生に、「そんなことない。この子が見えるわけない。」

とばっさり切り捨てられた。

網膜や視神経の所見から見えるわけがないと言われたのである。

その言葉に深く傷つけられていたのであった。

「初めて医師より前向きのことをいわれた。」

そのことがあまりにうれしかったらしく、後日お礼を言われた

一年の月日が過ぎ、A君はトランポリンで楽しむことができるようになった。

「大きくな〜れ！」

というと体を支えていれば立ち上がることができるようになった。ビックマックというスイッチを自分で押して、「ひよこ」の童謡が流れ始める。曲が終わると笑うまでに成長した。

A君は、見ることも自分の意志で動くことも聞くこともできる。そして笑うこともできる。医学的な評価よりも見るという行為があれば見えているのであり、検査はそのことを証明できていないだけである。

我々医療者の一言が、家族にとって希望になったり奈落の底へ突き落としたりする。一言の重さをA君から教わった。

(奇跡がくれた宝物 小沢浩著  
クリエイツかもがわ より)

